

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2013年4月26日から2026年4月17日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、カナダの高配当株式への投資に加え、「株式カバードコール戦略」および「通貨カバードコール戦略」を組み合わせることで、高水準のインカムゲインとオプションプレミアムの確保、ならびに中長期的な信託財産の成長を目指します。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 プリンシパル／C S カナディアン・エクイティ・インカム・ファンド ツインαクラス カナダの株式等 キャッシュ・マネジメント・マザーファンド 本邦貨建て公社債および短期金融商品等
当ファンドの運用方法	■カナダ株式を実質的な投資対象とし、主に配当利回りに着目した銘柄選定により信託財産の中長期的な成長を目指します。 ■「プリンシパル／C S カナディアン・エクイティ・インカム・ファンド ツインαクラス」においては、カナダ株式の配当利回り水準に着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄の中から、個々の企業のファンダメンタルズを勘案して銘柄を選定します。外国投資信託証券における株式の運用は、プリンシパル・グローバル・インベスタートーズ LLCが行います。 ■実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ■株式への投資に加え、ツインα戦略を行うことで、オプションプレミアムの確保を目指します。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	■毎月17日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

カナダ高配当株ツインα (毎月分配型) 【運用報告書(全体版)】

第25作成期（2025年4月18日から2025年10月17日まで）

第143期 / 第144期 / 第145期

決算日2025年5月19日 決算日2025年6月17日 決算日2025年7月17日

第146期 / 第147期 / 第148期

決算日2025年8月18日 決算日2025年9月17日 決算日2025年10月17日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、カナダの高配当株式への投資に加え、「株式カバードコール戦略」および「通貨カバードコール戦略」を組み合わせることで、高水準のインカムゲインとオプションプレミアムの確保、ならびに中長期的な信託財産の成長を目指します。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

カナダ高配当株ツインα（毎月分配型）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				公 組	社 入 比	債 率	投 資 信 託 証 券 率	純 総 資 産 額
	(分配落)	税 分	配 金	期 謄					
119期 (2023年5月17日)	円 1,665	円 10		% △0.4			% 0.0	% 97.2	百万円 12,729
120期 (2023年6月19日)	1,691	10		2.2			0.0	97.1	12,511
121期 (2023年7月18日)	1,669	10		△0.7			0.0	97.2	12,184
122期 (2023年8月17日)	1,670	10		0.7			0.0	97.2	12,059
123期 (2023年9月19日)	1,719	10		3.5			0.0	97.4	12,274
124期 (2023年10月17日)	1,662	10		△2.7			0.0	97.3	11,779
125期 (2023年11月17日)	1,665	10		0.8			0.0	97.3	11,554
126期 (2023年12月18日)	1,639	10		△1.0			0.0	97.1	11,136
127期 (2024年1月17日)	1,697	10		4.1			0.0	97.0	11,184
128期 (2024年2月19日)	1,728	10		2.4			0.0	97.3	11,151
129期 (2024年3月18日)	1,746	10		1.6			0.0	97.3	11,041
130期 (2024年4月17日)	1,746	10		0.6			0.0	97.3	10,893
131期 (2024年5月17日)	1,800	10		3.7			0.0	97.4	11,101
132期 (2024年6月17日)	1,753	10		△2.1			0.0	97.3	10,689
133期 (2024年7月17日)	1,800	10		3.3			0.0	97.3	10,815
134期 (2024年8月19日)	1,692	10		△5.4			0.0	97.3	10,095
135期 (2024年9月17日)	1,648	10		△2.0			0.0	97.4	9,758
136期 (2024年10月17日)	1,771	10		8.1			0.0	97.5	10,372
137期 (2024年11月18日)	1,816	10		3.1			0.0	97.5	10,525
138期 (2024年12月17日)	1,802	10		△0.2			0.0	97.4	10,269
139期 (2025年1月17日)	1,856	10		3.6			0.0	97.2	10,332
140期 (2025年2月17日)	1,862	10		0.9			0.0	97.3	10,188
141期 (2025年3月17日)	1,722	10		△7.0			0.0	97.2	9,333
142期 (2025年4月17日)	1,664	10		△2.8			0.0	97.4	8,976
143期 (2025年5月19日)	1,784	10		7.8			0.0	97.6	9,565
144期 (2025年6月17日)	1,823	10		2.7			0.0	97.5	9,693
145期 (2025年7月17日)	1,878	10		3.6			0.0	97.4	9,876
146期 (2025年8月18日)	1,889	10		1.1			0.0	97.5	9,811
147期 (2025年9月17日)	1,948	10		3.7			0.0	97.5	9,990
148期 (2025年10月17日)	2,002	10		3.3			0.0	97.4	10,133

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指標がないため、ベンチマークおよび参考指標はありません。

カナダ高配当株ツインα（毎月分配型）

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額	市況等		
			騰落率	公社比	債率
第143期	(期首) 2025年4月17日	円 1,664	% —	% 0.0	% 97.4
	4月末	1,715	3.1	0.0	97.6
	(期末) 2025年5月19日	1,794	7.8	0.0	97.6
第144期	(期首) 2025年5月19日	1,784	—	0.0	97.6
	5月末	1,794	0.6	0.0	97.7
	(期末) 2025年6月17日	1,833	2.7	0.0	97.5
第145期	(期首) 2025年6月17日	1,823	—	0.0	97.5
	6月末	1,848	1.4	0.0	97.6
	(期末) 2025年7月17日	1,888	3.6	0.0	97.4
第146期	(期首) 2025年7月17日	1,878	—	0.0	97.4
	7月末	1,894	0.9	0.0	97.6
	(期末) 2025年8月18日	1,899	1.1	0.0	97.5
第147期	(期首) 2025年8月18日	1,889	—	0.0	97.5
	8月末	1,920	1.6	0.0	97.6
	(期末) 2025年9月17日	1,958	3.7	0.0	97.5
第148期	(期首) 2025年9月17日	1,948	—	0.0	97.5
	9月末	1,979	1.6	0.0	97.7
	(期末) 2025年10月17日	2,012	3.3	0.0	97.4

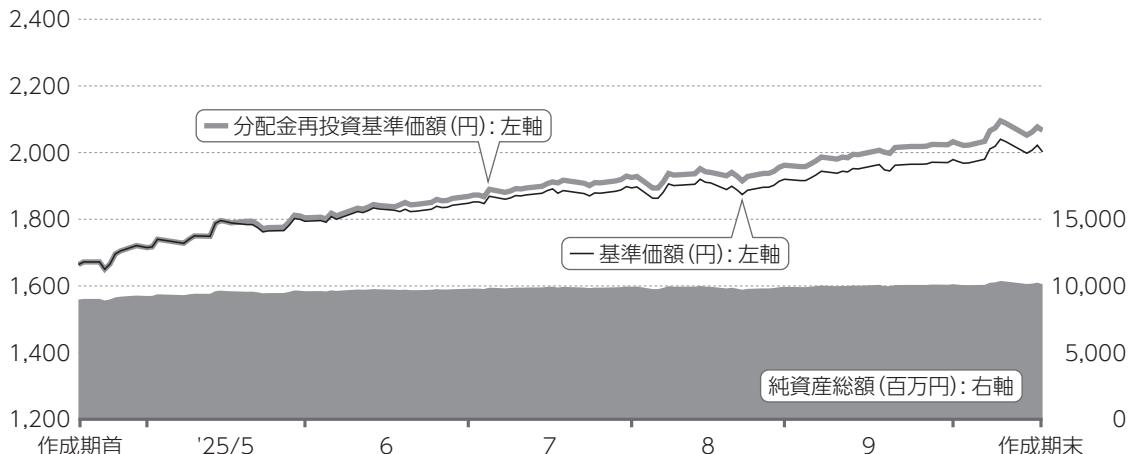
※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2025年4月18日から2025年10月17日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	1,664円
作成期末	2,002円 (当作成期既払分配金60円(税引前))
騰落率	+24.2% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2025年4月18日から2025年10月17日まで)

当ファンドは、主として円建て外国投資信託証券への投資を通じて、カナダの高配当株式への投資に加え、「株式カバードコール戦略」および「通貨カバードコール戦略」を組み合わせて運用を行いました。

上昇要因

- 米国と主要な貿易相手国との間で関税交渉に進展が見られたことに加え、F R B (米連邦準備制度理事会) やカナダ銀行(中央銀行)による利下げ期待が高まったこと
- 情報技術、金融、素材などのセクターが上昇したこと
- カナダドルが対円で上昇したこと

下落要因

- 資本財・サービス、情報技術、エネルギーセクターの保有銘柄が下落したこと

投資環境について(2025年4月18日から2025年10月17日まで)

カナダ株式市場は上昇しました。また、カナダドルは対円で上昇しました。

カナダ株式市場

カナダ株式市場は上昇しました。米国と主要な貿易相手国との間で関税交渉に進展が見られたことに加え、F R B やカナダ銀行による利下げ期待が高まったことなどが上昇要因となりました。

原油価格は下落しました。中東の地政学リスクの高まりなどを背景に大きく上昇する局面もありましたが、O P E C (石油輸出国機構)と非加盟国のロシアなどで構成されるO P E Cプラスの有志国が追加増産を決定したことや、ロシアとウクライナの停戦に向けた協議の進展などを受けて下落しました。

為替市場

カナダドルは対米ドルでは下落しましたが、対円では上昇しました。

カナダ銀行が8月まで政策金利を据え置くなか、日銀の利上げ期待が後退したことや日本の政局の不透明感などがカナダドル高・円安要因となりました。

ポートフォリオについて(2025年4月18日から2025年10月17日まで)

当ファンド

主要投資対象であるプリンシパル／C S カナディアン・エクイティ・インカム・ファンド ツインαクラスを、期間を通じて高位に組み入れました。

プリンシパル／C S カナディアン・エクイティ・インカム・ファンド
ツインαクラス

持続的に高い配当の支払いを行うことが可能な銘柄を中心に、事業ファンダメンタルズ(基礎的条件)とバリュエーション(投資価値評価)が魅力的な銘柄を多く組み入れました。

先行き不透明感を背景に金価格が上昇していたことなどから、金の採掘などを手掛けるアグニコ・イーグル・マインズとアラモス・ゴールドへの配分を増やしました。一方、米国政府の関税政策を背景に利益率の悪化が懸念されたことなどから、肥料メーカーのニュートリエンを全売却しました。

キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

安全性と流動性を考慮し、短期の政府保証債を中心とした運用を行いました。

カナダ高配当株ツインα（毎月分配型）

ベンチマークとの差異について(2025年4月18日から2025年10月17日まで)

ベンチマークおよび参考指標を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2025年4月18日から2025年10月17日まで)

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、以下の通りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第143期	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期
当期分配金	10	10	10	10	10	10
(対基準価額比率)	(0.56%)	(0.55%)	(0.53%)	(0.53%)	(0.51%)	(0.50%)
当期の収益	0	0	0	0	0	0
当期の収益以外	9	9	9	9	9	9
翌期繰越分配対象額	282	272	262	252	242	232

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

② 今後の運用方針

当ファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、主として円建て外国投資信託証券への投資を通じて、カナダの高配当株式への投資に加え、「株式カバードコール戦略」および「通貨カバードコール戦略」を組み合わせることで、高水準のインカムゲインとオプションプレミアムの確保、ならびに中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

プリンシパル／CS カナディアン・エクイティ・インカム・ファンド ツインαクラス

米国政府の関税政策による影響をはじめ、先行き不透明な状況が続いているが、株式市場は堅調に推移しています。また、F R Bによる追加利下げ観測が高まっていることなどは株式などのリスク性資産を下支えするとみています。

引き続き、個別企業の分析に基づくボトムアップの銘柄選択により、高配当銘柄の中でも、事業ファンダメンタルズの改善や投資家の期待の上昇が想定される銘柄への投資を通じて、安定的なリターンの獲得に努める方針です。

キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。

③ お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

カナダ高配当株ツインα（毎月分配型）

1万口当たりの費用明細(2025年4月18日から2025年10月17日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	13円	0.685%	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は1,864円です。
(投信会社)	(4)	(0.234)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(8)	(0.438)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内のファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(0)	(0.012)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	—	—	売買委託手数料=期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(—)	(—)	
(先物・オプション)	(—)	(—)	
(投資信託証券)	(—)	(—)	
(c) 有価証券取引税	—	—	有価証券取引税=期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(—)	(—)	
(公社債)	(—)	(—)	
(投資信託証券)	(—)	(—)	
(d) その他費用	0	0.000	その他費用=期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送回金・資産の移転等に要する費用
(保管費用)	(—)	(—)	
(監査費用)	(0)	(0.000)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他の)	(—)	(—)	その他の信託事務の処理等に要するその他費用
合計	13	0.685	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)

2 投資先ファンドの費用 0.77%

運用管理費用以外
0.04%

運用管理費用
0.73%

1 当ファンドの費用 1.36%

運用管理費用
(投信会社) 0.47%

運用管理費用
(販売会社) 0.87%

運用管理費用
(受託会社) 0.02%

その他費用
0.00%

総経費率
2.13%

総経費率(1 + 2)

2.13%

1 当ファンドの費用の比率

1.36%

投資先ファンドの運用管理費用の比率

0.73%

投資先ファンドの運用管理費用以外の比率

0.04%

※①の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※②の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、入手可能なファンド全体の経費率です。そのため、実際に投資しているシェアクラスの経費率とは大きく異なる場合があります。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※①と②の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は2.13%です。

カナダ高配当株ツインα（毎月分配型）

■ 当作成期中の売買及び取引の状況（2025年4月18日から2025年10月17日まで）

投資信託証券

		当 作 成 期			
		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国内	プリンシパル／C S カナディアン・エクイティ・インカム・ファンド ツインαクラス	口 85,073,884	千円 28,803	口 2,924,573,203	千円 1,063,043

※金額は受渡し代金。

※国内には、円建での外国籍投資信託証券を含みます。

■ 利害関係人との取引状況等（2025年4月18日から2025年10月17日まで）

利害関係人との取引状況

カナダ高配当株ツインα（毎月分配型）

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

区 分	当 作 成 期				
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D
公 社 債	百万円 5,494	百万円 2,197	% 40.0	百万円 -	百万円 -

※平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C 日興証券株式会社です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2025年4月18日から2025年10月17日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

カナダ高配当株ツインα（毎月分配型）

■組入れ資産の明細（2025年10月17日現在）

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	作成期首	作成期末		
	口数	口数	評価額	組入比率
プリンシバル／C S カナディアン・エクイティ・インカム・ファンド ツインαクラス	口 27,888,072,563	口 25,048,573,244	千円 9,874,147	% 97.4
合計	27,888,072,563	25,048,573,244	9,874,147	97.4

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(2) 親投資信託残高

種類	作成期首	作成期末	
	口数	口数	評価額
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	千口 433	千口 433	千円 441

※キャッシュ・マネジメント・マザーファンドの作成期末の受益権総口数は5,479,789,407口です。

■投資信託財産の構成

（2025年10月17日現在）

項目	作成期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 9,874,147	% 96.5
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	441	0.0
コール・ローン等、その他	352,869	3.5
投資信託財産総額	10,227,458	100.0

カナダ高配当株ツインα（毎月分配型）

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2025年5月19日) (2025年6月17日) (2025年7月17日) (2025年8月18日) (2025年9月17日) (2025年10月17日)

項目	第143期末	第144期末	第145期末	第146期末	第147期末	第148期末
(A) 資産	9,649,997,181円	9,771,739,550円	9,951,362,590円	9,900,115,954円	10,076,953,541円	10,227,458,575円
コール・ローン等	223,190,560	307,763,774	321,175,955	314,733,141	329,392,518	337,058,682
投資信託受益証券(評価額)	9,337,513,221	9,452,968,240	9,622,825,968	9,563,853,718	9,739,026,552	9,874,147,572
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド(評価額)	440,495	440,625	440,798	440,972	441,145	441,318
未収入金	88,852,905	10,566,911	6,919,869	21,088,123	8,093,326	15,811,003
(B) 負債	84,828,357	78,070,140	74,989,480	88,184,958	86,118,256	94,349,411
未払収益分配金	53,619,084	53,164,063	52,603,829	51,954,187	51,296,628	50,609,864
未払解約金	19,911,219	14,275,573	11,150,985	24,072,185	23,359,638	31,991,016
未払信託報酬	11,257,697	10,552,324	11,116,641	11,997,560	11,260,602	11,505,904
その他未払費用	40,357	78,180	118,025	161,026	201,388	242,627
(C) 純資産総額(A-B)	9,565,168,824	9,693,669,410	9,876,373,110	9,811,930,996	9,990,835,285	10,133,109,164
元本	53,619,084,269	53,164,063,968	52,603,829,928	51,954,187,282	51,296,628,442	50,609,864,953
次期繰越損益金	△44,053,915,445	△43,470,394,558	△42,727,456,818	△42,142,256,286	△41,305,793,157	△40,476,755,789
(D) 受益権総口数	53,619,084,269口	53,164,063,968口	52,603,829,928口	51,954,187,282口	51,296,628,442口	50,609,864,953口
1万口当たり基準価額(C/D)	1,784円	1,823円	1,878円	1,889円	1,948円	2,002円

※当作成期における作成期首元本額53,942,410,665円、作成期中追加設定元本額324,925,159円、作成期中一部解約元本額3,657,470,871円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6 第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6 第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

カナダ高配当株ツインα（毎月分配型）

■ 損益の状況

[自2025年4月18日] [自2025年5月20日] [自2025年6月18日] [自2025年7月18日] [自2025年8月19日] [自2025年9月18日]
 [至2025年5月19日] [至2025年6月17日] [至2025年7月17日] [至2025年8月18日] [至2025年9月17日] [至2025年10月17日]

項目	第143期	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期
(A) 配当等収益	97,689円	85,819円	96,441円	106,274円	99,072円	99,960円
受取利息	97,689	85,819	96,441	106,274	99,072	99,960
(B) 有価証券売買損益	707,560,622	273,307,497	348,536,552	121,448,682	365,527,641	338,111,829
売買益	710,361,463	274,520,281	349,893,207	122,657,059	367,869,682	340,701,209
売買損	△ 2,800,841	△ 1,212,784	△ 1,356,655	△ 1,208,377	△ 2,342,041	△ 2,589,380
(C) 信託報酬等	△ 11,298,054	△ 10,590,147	△ 11,156,486	△ 12,040,561	△ 11,300,984	△ 11,547,143
(D) 当期損益金(A+B+C)	696,360,257	262,803,169	337,476,507	109,514,395	354,325,749	326,664,646
(E) 前期繰越損益金	△16,977,796,896	△16,124,763,757	△15,679,481,192	△15,138,361,317	△14,824,846,870	△14,264,026,082
(F) 追加信託差損益金	△27,718,859,722	△27,555,269,907	△27,332,848,304	△27,061,455,177	△26,783,975,408	△26,488,784,489
(配当等相当額)	(1,569,147,358)	(1,502,763,449)	(1,434,405,924)	(1,364,830,750)	(1,296,352,955)	(1,228,482,891)
(売買損益相当額)	(△29,288,007,080)	(△29,058,033,356)	(△28,767,254,228)	(△28,426,285,927)	(△28,080,328,363)	(△27,717,267,380)
(G) 合計(D+E+F)	△44,000,296,361	△43,417,230,495	△42,674,852,989	△42,090,302,099	△41,254,496,529	△40,426,145,925
(H) 収益分配金	△ 53,619,084	△ 53,164,063	△ 52,603,829	△ 51,954,187	△ 51,296,628	△ 50,609,864
次期繰越損益金(G+H)	△44,053,915,445	△43,470,394,558	△42,727,456,818	△42,142,256,286	△41,305,793,157	△40,476,755,789
追加信託差損益金	△27,772,382,101	△27,608,351,194	△27,385,358,911	△27,113,313,791	△26,835,176,206	△26,539,297,708
(配当等相当額)	(1,515,624,979)	(1,449,682,162)	(1,381,895,317)	(1,312,972,136)	(1,245,152,157)	(1,177,969,672)
(売買損益相当額)	(△29,288,007,080)	(△29,058,033,356)	(△28,767,254,228)	(△28,426,285,927)	(△28,080,328,363)	(△27,717,267,380)
繰越損益金	△16,281,533,344	△15,862,043,364	△15,342,097,907	△15,028,942,495	△14,470,616,951	△13,937,458,081

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第143期	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期
(a) 経費控除後の配当等収益	96,705円	82,776円	93,222円	95,573円	95,830円	96,645円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	1,569,147,358	1,502,763,449	1,434,405,924	1,364,830,750	1,296,352,955	1,228,482,891
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	1,569,244,063	1,502,846,225	1,434,499,146	1,364,926,323	1,296,448,785	1,228,579,536
1万口当たり当期分配対象額	292.67	282.68	272.70	262.72	252.74	242.75
(f) 分配金	53,619,084	53,164,063	52,603,829	51,954,187	51,296,628	50,609,864
1万口当たり分配金	10	10	10	10	10	10

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	第143期	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期
	10円	10円	10円	10円	10円	10円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

カナダ高配当株ツインα（毎月分配型）

■組入れ投資信託証券の内容

投資信託証券の概要

ファンド名	プリンシパル／C S カナディアン・エクイティ・インカム・ファンド ツインαクラス
形態	ケイマン籍契約型投資信託（円建て）
主要投資対象	カナダの株式等を主要投資対象とします。また、スワップ取引を通じて、株価指數オプション取引、通貨オプション取引を活用します。
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●高配当株式投資戦略 <ul style="list-style-type: none"> ・株式等への投資に当たっては、配当利回り水準に着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。 ・銘柄の選定に当たっては、個々の企業のファンダメンタルズ分析等も勘案します。 ・株式等の運用は、プリンシパル・グローバル・インベスターZ LLCが行います。 ●株式カバードコール戦略 <ul style="list-style-type: none"> ・カナダ株価指數（原則S&Pトロント60指數）のコールオプションの売りを行うことでオプションプレミアムの確保を目指します。 ・原則として保有するカナダドル建て資産の評価額の50%程度のコールオプションの売りを行います。 ●通貨カバードコール戦略 <ul style="list-style-type: none"> ・円に対するカナダドルのコールオプションの売りを行うことでオプションプレミアムの確保を目指します。 ・原則として保有するカナダドル建て資産の評価額の50%程度のコールオプションの売りを行います。 ※カバードコール戦略では、原則として、権利行使が満期日のみに限定されているオプションを利用することを基本とします。 ※カバードコール戦略については、UBS AG ロンドン支店を相手方とするスワップ取引を通じて当該戦略を行った場合の投資成果を享受します。 ●資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ●株式等への投資割合には、制限を設けません。 ●同一銘柄の株式等への投資割合は、原則として信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ●同一セクターへの投資割合は、原則として取得時において信託財産の純資産総額の50%以内とします。
分配方針	原則、毎月行います。
運用管理費用	<p>純資産総額に対して 運用報酬：年0.40% 報酬代行会社報酬：年0.215%*</p> <p>* 報酬代行会社報酬の中に、管理会社報酬、スワップ取引事務費用などが含まれます。 ※上記のほか、管理事務費用、名義書換事務代行費用、保管に要する費用、受託会社の費用（年20,000米ドル以内）などがかかりますが、運用状況等により変動するものであり、事前に料率等を示すことができません。 また、年間最低報酬額や取引ごとにかかる報酬等が定められている場合があるため、純資産総額の規模や取引頻度等によっては、上記の料率を上回ることがあります。</p>
その他の費用	ファンドの取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
申込手数料	ありません。
管理会社	UBSマネジメント（ケイマン）リミテッド
副投資顧問会社	プリンシパル・グローバル・インベスターZ LLC
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「プリンシパル／C S カナディアン・エクイティ・インカム・ファンド ツインαクラス」をシェアクラスとして含む「プリンシパル／C S カナディアン・エクイティ・インカム・ファンド」の情報を委託会社において抜粋、要約して翻訳したものを記載しています。

■ 包括利益計算書

2024年3月31日に
終了した年度
(日本円)

収益

損益を通じて公正価値で測定される金融商品の純損益

受取配当金	419, 335, 660
スワップ費用	(1, 075, 686, 086)
有価証券に係る純損益	2, 674, 580, 860
	2, 018, 230, 434

受取利息

外国為替取引に係る純損益	23, 611, 865
収益合計	2, 041, 843, 135

費用

助言報酬	46, 367, 664
仲介手数料	24, 922, 948
取引費用	7, 209, 727
保管管理費用	15, 735, 199
受託会社及び名義書換代理人報酬	4, 627, 911
運用費用合計	98, 863, 449

運用に伴う損益（税引前）

源泉徴収税

分配前の受益者に帰属する純資産の変動額

受益者に対する分配金

分配後の受益者に帰属する純資産の変動額

カナダ高配当株ツインα（毎月分配型）

組入上位銘柄

(基準日：2024年3月29日)

	銘柄名	業種名	比率
1	カナダロイヤル銀行	金融	8.7%
2	カナディアン・ナチュラルリソーシズ	エネルギー	5.6%
3	ショッピファイ	情報技術	4.9%
4	カナディアン・インペリアル・バンク・オブ・コマース	金融	4.6%
5	カナディアン・パシフィック・カンザス・シティ	資本財・サービス	4.0%
6	トロント・ドミニオン銀行	金融	3.9%
7	バンク・オブ・モントリオール	金融	3.3%
8	カナディアン・ナショナル・レールウェイ	資本財・サービス	3.1%
9	サンコア・エナジー	エネルギー	2.9%
10	アリマンタション・クチュアル	生活必需品	2.8%
全銘柄数		57銘柄	

※比率は、組入銘柄の評価額合計を100%として計算した値です。

キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

第19期（2024年7月26日から2025年7月25日まで）

信託期間	無期限（設定日：2007年2月20日）
運用方針	■本邦貸建て公社債および短期金融商品等に投資を行い、利息等収入の確保を図ります。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		公組入社比	債率	純総資産額
		期騰	中落			
15期（2021年7月26日）	10,154		△0.1		62.8	百万円 5,851
16期（2022年7月25日）	10,152		△0.0		75.3	4,586
17期（2023年7月25日）	10,148		△0.0		68.8	3,220
18期（2024年7月25日）	10,147		△0.0		82.2	4,388
19期（2025年7月25日）	10,175		0.3		68.0	4,118

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指標がないため、ベンチマークおよび参考指標はありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

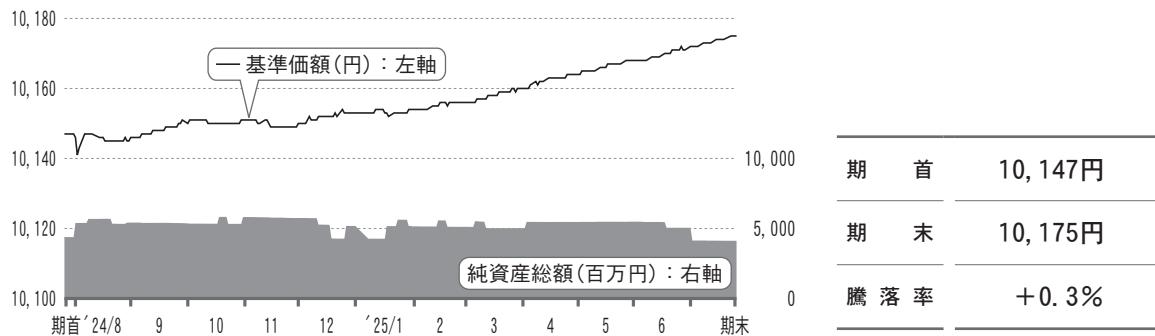
年月日	基準価額	騰落率		公組入社比	債率
		期騰	中落		
（期首） 2024年7月25日	円 10,147		% —		% 82.2
7月末	10,146		△0.0		63.0
8月末	10,146		△0.0		62.8
9月末	10,150		0.0		59.8
10月末	10,151		0.0		68.9
11月末	10,150		0.0		73.1
12月末	10,153		0.1		75.4
2025年1月末	10,154		0.1		70.0
2月末	10,156		0.1		70.4
3月末	10,160		0.1		65.8
4月末	10,164		0.2		69.6
5月末	10,168		0.2		69.6
6月末	10,172		0.2		69.3
（期末） 2025年7月25日	10,175		0.3		68.0

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について (2024年7月26日から2025年7月25日まで)

基準価額等の推移



▶ 基準価額の主な変動要因 (2024年7月26日から2025年7月25日まで)

当ファンドは、本邦通貨建ての公社債および短期金融商品等を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行いました。

上昇要因

- 日銀が2025年1月に追加利上げを行ったことを受け、短期公社債や短期金融商品の利回りが上昇し、利子等の収益を確保したこと

▶ 投資環境について（2024年7月26日から2025年7月25日まで）

国内短期金融市場は下落しました。

7月末に日本銀行は日銀当座預金付利金利を0.25%へ引き上げ、無担保コール翌日金利を0.25%程度で推移するよう促すことを決定しました。8月に入ると円高や株安が進んだことでリスク回避の動きが強まり、国内金利は急低下しました。10月以降は米大統領選を受けた米国金利の上昇や日銀のタカ派姿勢を背景に、国内金利は上昇に転じました。2025年1月には日本銀行が無担保コール翌日金利の誘導目標を0.5%程度へ引き上げ、金利の上昇が続きました。4月以降は米国の関税措置や中東情勢の緊迫化が金利低下要因となったものの、関税交渉の進展や財政悪化懸念等を背景に、期末にかけて国内金利は上昇基調で推移しました。

国庫短期証券3ヶ月物利回りは、一時マイナス圏まで低下する局面もあったものの、10月下旬以降は上昇基調で推移しました。

▶ ポートフォリオについて（2024年7月26日から2025年7月25日まで）

安全性と流動性を考慮し、短期国債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヶ月以内の短期国債を中心とした運用を継続しました。

▶ ベンチマークとの差異について（2024年7月26日から2025年7月25日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

2 今後の運用方針

国内景気は米国の関税措置による下押し圧力がかかるものの、賃金上昇による消費の下支えや企業の設備投資需要の下、先行きは成長軌道に戻る見通しです。CPIコア（生鮮食品除く消費者物価指数）の前年比伸び率は、コストプッシュ圧力の減衰が見込まれる一方で賃金上昇に伴いサービス価格が上昇することにより、教育無償化の拡充による一時的な下押しの影響を除けば、+2%程度の伸び率を維持できる見通しです。米国の政策運営やグローバル景気の先行きに対する不確実性が高いことは、金利の低下要因です。一方で、日銀は足元では様子見姿勢を続いているものの、不確実性の低下に伴い先行きは利上げ姿勢に戻ることが見込まれます。金利先高観の継続で国内金利は低下方向には進みにくく、米国と各国の貿易交渉が進む際には上昇圧力がかかる見通しです。

当ファンドでは引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。ファンドの平均残存年限については、2~4ヶ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

■ 1万口当たりの費用明細 (2024年7月26日から2025年7月25日まで)

当期中における記載すべき項目はありません。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2024年7月26日から2025年7月25日まで)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 4,195,721	千円 — (1,900,000)
	特殊債券	1,320,426	— (3,424,000)
	社債券	199,805	— (1,200,000)

※金額は受渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

※（ ）内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

※社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

■ 利害関係人との取引状況等 (2024年7月26日から2025年7月25日まで)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 5,715	百万円 698	% 12.2	百万円 -	百万円 -	% -

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2024年7月26日から2025年7月25日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2025年7月25日現在)

公社債

A 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区分	期					末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率		残存期間別組入比率		
						5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 2,300,000 (2,300,000)	千円 2,299,077 (2,299,077)	% 55.8 (55.8)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 55.8 (55.8)
特殊債券 (除く金融債券)	400,000 (400,000)	399,896 (399,896)	9.7 (9.7)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	9.7 (9.7)
普通社債券	100,000 (100,000)	99,991 (99,991)	2.4 (2.4)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	2.4 (2.4)
合計	2,800,000 (2,800,000)	2,798,965 (2,798,965)	68.0 (68.0)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	68.0 (68.0)

※（ ）内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

B 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債

種類	銘柄	期		末	
		利	率	額面金額	評価額
国債証券	1302国庫短期証券	%	—	400,000	399,986
	1251国庫短期証券			1,000,000	999,738
	1257国庫短期証券			500,000	499,685
	1298国庫短期証券			400,000	399,667
小計		—		2,300,000	2,299,077
特殊債券 (除く金融債券)	30 政保政策投資C	0.4250	—	200,000	199,980
	258 政保道路機構			200,000	199,916
小計		—		400,000	399,896
普通社債券	70 三菱UFJリース	0.2000	—	100,000	99,991
小計		—		100,000	99,991
合計		—		2,800,000	2,798,965

■ 投資信託財産の構成

(2025年7月25日現在)

項目	期		比率
	評価額	千円	
公 社 債	2,798,965	千円	67.9%
コ ー ル・ロ ー ン 等、そ の 他	1,323,176	千円	32.1%
投 資 信 託 財 産 総 額	4,122,141	千円	100.0%

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年7月25日現在)

項	目	期	末
(A) 資	産	4, 122, 141, 394円	
コール・ローン等		1, 322, 623, 559	
公社債(評価額)		2, 798, 965, 300	
未収利息		514, 727	
前払費用		37, 808	
(B) 負	債	3, 220, 136	
未払解約金		3, 220, 136	
(C) 純資産額(A-B)		4, 118, 921, 258	
元本		4, 048, 063, 050	
次期繰越損益金		70, 858, 208	
(D) 受益権総口数		4, 048, 063, 050口	
1万口当たり基準価額(C/D)		10, 175円	

※当期における期首元本額4, 325, 119, 397円、期中追加設定元本額5, 969, 693, 751円、期中一部解約元本額6, 246, 750, 098円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

SMB Cファンドラップ・日本バリュー株	984, 252円
SMB Cファンドラップ・J-R E I T	984, 252円
SMB Cファンドラップ・G-R E I T	93, 018, 163円
SMB Cファンドラップ・ヘッジファンド	311, 216, 889円
SMB Cファンドラップ・米国株	984, 543円
SMB Cファンドラップ・欧州株	89, 718, 432円
SMB Cファンドラップ・新興国株	61, 111, 034円
SMB Cファンドラップ・コモディティ	30, 882, 058円
SMB Cファンドラップ・米国債	136, 874, 567円
SMB Cファンドラップ・欧州債	68, 341, 252円
SMB Cファンドラップ・新興国債	54, 958, 024円
SMB Cファンドラップ・日本グロース株	167, 596, 581円
SMB Cファンドラップ・日本中小型株	27, 029, 827円
SMB Cファンドラップ・日本債	964, 891, 078円
日本株厳選ファンド・円コース	270, 889円
日本株厳選ファンド・ブラジルレアルコース	438, 760円
日本株厳選ファンド・豪ドルコース	679, 887円
日本株厳選ファンド・アジア3通貨コース	9, 783円
日本株225・米ドルコース	49, 237円
スマート・ストラテジー・ファンド(毎月決算型)	12, 541, 581円
スマート・ストラテジー・ファンド(年2回決算型)	4, 566, 053円
カナダ高配当株ツインα(毎月分配型)	433, 260円
日本株厳選ファンド・米ドルコース	196, 696円
日本株厳選ファンド・メキシコペソコース	196, 696円

日本株厳選ファンド・トルコリラコース	196, 696円
グローバル創薬関連株式ファンド	984, 834円
ひとくふうターゲット・デート・ファンド2030	27, 486円
米国分散投資戦略ファンド(1倍コース)	550, 473, 667円
米国分散投資戦略ファンド(3倍コース)	351, 673, 614円
米国分散投資戦略ファンド(5倍コース)	445, 153円
グローバルDX関連株式ファンド(予想分配金提示型)	295, 276円
グローバルDX関連株式ファンド(資産成長型)	1, 968, 504円
日興FWS・日本株クオリティ	19, 697円
日興FWS・日本株市場型アクティブ	19, 697円
日興FWS・先進国株クオリティ(為替ヘッジあり)	19, 697円
日興FWS・先進国株クオリティ(為替ヘッジなし)	19, 697円
日興FWS・先進国株市場型アクティブ(為替ヘッジあり)	19, 697円
日興FWS・先進国株市場型アクティブ(為替ヘッジなし)	19, 697円
日興FWS・新興国株アクティブ(為替ヘッジあり)	19, 697円
日興FWS・新興国株アクティブ(為替ヘッジなし)	19, 697円
日興FWS・日本債アクティブ	19, 697円
日興FWS・先進国債アクティブ(為替ヘッジあり)	19, 697円
日興FWS・先進国債アクティブ(為替ヘッジなし)	19, 697円
日興FWS・新興国債アクティブ(為替ヘッジあり)	19, 697円
日興FWS・新興国債アクティブ(為替ヘッジなし)	19, 697円
日興FWS・Jリートアクティブ	19, 697円
日興FWS・Gリートアクティブ(為替ヘッジあり)	19, 697円
日興FWS・Gリートアクティブ(為替ヘッジなし)	19, 697円
日興FWS・ヘッジファンドマルチ戦略	19, 697円
日興FWS・ヘッジファンドアクティブ戦略	19, 697円
トータルヘッジ用ファンドSMT1号<適格機関投資家限定>	1, 113, 669, 480円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2024年7月26日 至2025年7月25日)

項目	当期
(A) 配当等収益	19,008,435円
受取利息	19,008,435
(B) 有価証券売買損益	△ 4,672,541
売買益	1,417,014
売買損	△ 6,089,555
(C) 当期損益金(A+B)	14,335,894
(D) 前期繰越損益金	63,542,584
(E) 解約差損益金	△ 97,729,397
(F) 追加信託差損益金	90,709,127
(G) 合計(C+D+E+F)	70,858,208
次期繰越損益金(G)	70,858,208

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

■ お知らせ

＜約款変更について＞

- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行うため、信託約款に所要の変更を行いました。

(適用日：2025年4月1日)